



## 文化財展・企画展

文化財展・企画展は、市の指定文化財や市に残された資料を展示し、市民の皆さまに市の歴史や文化を広く知ってもらうため令和2年から行っているものです。

今年は開校150年を迎える小学校が市内にあることから、この企画展を開催します。

# 「小学校のはじまりと校歌」 テーマ

小学校からお借りした資料の展示や、校歌を流す予定です。

# 令和5年 文化財企画展 開催します

日時 10月20日(金)～25日(火)※土日開催  
午前9時30分～午後4時30分  
場所 市役所1階 コミュニティルーム  
問合せ 生涯学習課 ☎984・3563

## 小学校のはじまり

### ◆江戸時代の寺子屋

江戸時代の庶民の教育は寺子屋(手習塾)で行われていました。市内でも8カ所寺子屋が開設されていたという記録が残っています。

師匠となつたのは僧侶や村役人などで、彼らの寺や民家が教室となりました。教育内容は実用的で、読み・書き・そろばん(計算)でした。

### ◆小学校の誕生

江戸時代が終わり、明治という新しい時代になると、新政府は西洋の制度を導入して近代化を進めました。明治4年7月、全国の教育行政を統括する機関として文部省を設置します。

明治5年8月には、日本最初の近代学校制度を定めた法令「学制」を公布しました。これにより、身分・性別に関係なくすべての子どもを就学させることになりました。

市内では、明治6年から9年までに八つの小学校が開校しています。いずれも数力村が連合して、寺院を利用して開設されました。これが、現在の吉川小学校・三輪野江小学校・旭小学校へつながっていきます。

その後、昭和48年になり、武蔵野線が開通すると、人口増加に伴い、小学校が次々と開校していきました。

## 吉川小学校の校歌

吉川小学校の校歌は、当時の埼玉県知事であり、歌人でもある千家尊福が、明治27年に作詞したといわれています。そのため歌詞は教訓だけでなく、掛詞を用いて、地域や子どもたちの、より良い未来を願うものになっています。

作曲は、後に東京音楽大学となる学校を創立した鈴木米次郎です。

作曲ができる人物に限られる明治時代に作曲を依頼し、報酬を支払えた吉川地区は、人脈や財力もあり、教育に対しても熱心な地域だったと思われるます。



### ▲吉川小学校校歌の額

千家尊福が明治29年、校舎の新築祝いに贈った校歌の額(紙本墨書)

